

# Hitachi Koki

形 名

FCG 18DL  
FCG 18DAL

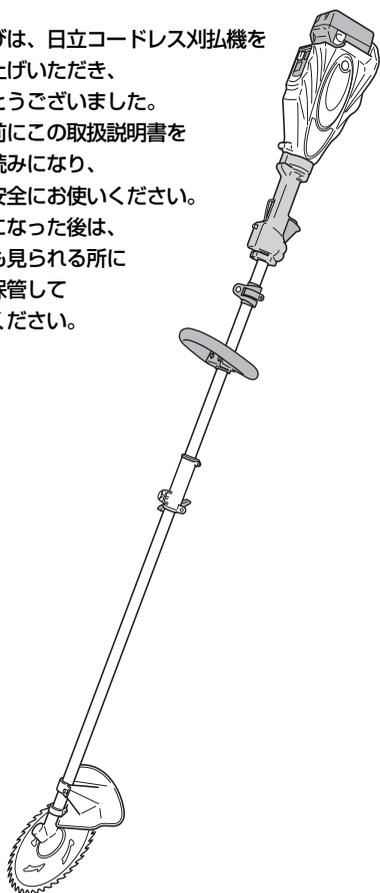
## 取扱説明書 保証書付

# 日立コードレス刈払機

### 用 途

- 一般の草刈り

このたびは、日立コードレス刈払機をお買い上げいただき、ありがとうございました。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。



警告表示について	1
コードレス工具の安全上のご注意	2
本製品の使用上のご注意	6
リチウムイオン電池の使用上のご注意	9
各部のなまえ	11
標準付属品	12

はじめに

充電する	13
電池残量表示について	15
ご使用前の準備	16
草を刈る	21
刈払い作業上のご注意	23

使い方

点検とお手入れ	24
別売部品の紹介	28
故障かな…というときは	29
仕様	31
アフターサービスについて	32
保証書	裏表紙

その他

HITACHI

# 警告表示について

当該製品に関する安全な使用方法、予見可能な危険の排除、ご使用時の危険回避などを目的に本機および取扱説明書に下記の表示をしております。  
これらの表示以外に関しても十分安全に配慮してご使用ください。



取扱説明書を良く読んで内容を十分理解し、誤った使用で不慮の事故を起こさないように注意してください。



切削物の飛散方向に注意してください。



保安帽（ヘルメット）、保護メガネ、手袋、安全靴など防護具を着用してください。



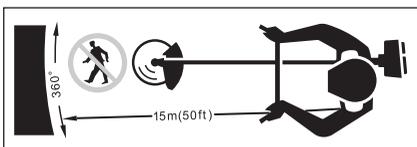
キックバックに注意してください。



飛散防護カバーを所定の位置に取付けてください。



運搬時、保管時は刈刃カバーを取付けてください。



刈払機の作業員から15 m以内を危険区域とし、この中に作業員以外の人が入らないこと。また、数台同時に作業するときも、この距離は守ってください。

## ⚠ 警告、⚠ 注意、注 の意味について

ご使用上の注意事項は「⚠ 警告」、「⚠ 注意」、「注」に区分しており、それぞれ次の意味を表します。



**警告**

：誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容にご注意。



**注意**

：誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容にご注意。

なお、「⚠ 注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

**注**

：製品のすえ付け、操作、メンテナンスに関する重要なご注意。

# コードレス工具の安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

## ⚠ 警告

### ① 専用の充電器や蓄電池を使用してください。

- この取扱説明書および当社カタログに記載されている指定の充電器や蓄電池を使用してください。指定以外の蓄電池を使用すると、破裂して傷害や損害を及ぼす恐れがあります。

### ② 正しく充電してください。

- この充電器は、定格表示してある電源で使用してください。直流電源やエンジン発電機では使用しないでください。異常に発熱し、火災の恐れがあります。
- 温度が0℃未満、または温度が40℃を超える場合は、蓄電池を充電しないでください。正しく充電されないばかりか、蓄電池の寿命が短くなります。また、破裂や火災の恐れがあります。
- 蓄電池は、換気の良い場所で充電してください。充電中、蓄電池や充電器を布などでおおわないでください。破裂や火災の恐れがあります。
- 使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。感電や火災の恐れがあります。

### ③ 蓄電池の端子間を短絡させないでください。

- 釘袋などに入れると、短絡して、発煙・発火・破裂などの恐れがあります。

### ④ 感電に注意してください。

- ぬれた手で、充電器の電源プラグに触れないでください。感電の恐れがあります。

### ⑤ 作業場の周囲状況も考慮してください。

- 工具本体・充電器・蓄電池は、雨中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。感電や発煙の恐れがあります。
- 作業場は十分に明るくしてください。  
暗い場所での作業は、事故の原因になります。
- 可燃性の液体やガスのある所で使用したり、充電しないでください。  
爆発や火災の恐れがあり、事故の原因になります。

### ⑥ 保護メガネを使用してください。

- 作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。  
切削したものや粉じんが目や鼻に入る恐れがあります。

## ⚠ 警告

- ⑦ **加工するものをしっかりと固定してください。**
  - 加工するものを固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で工具本体を使用できます。固定が不十分な場合は、加工するものが飛んで、けがの原因になります。
- ⑧ **次の場合は、工具本体のスイッチを切り、蓄電池を工具本体から抜いてください。**
  - 使用しない、または、修理する場合。
  - 刃物、ビットなどの付属品を交換する場合。
  - その他、危険が予想される場合。  
工具本体が作動して、けがの原因になります。
- ⑨ **不意な始動は避けてください。**
  - スイッチに指を掛けて運ばないでください。  
工具本体が作動して、けがの原因になります。
- ⑩ **指定の付属品やアタッチメントを使用してください。**
  - この取扱説明書および当社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメントを使用してください。  
事故やけがの原因になります。
- ⑪ **蓄電池を火中に投入しないでください。**
  - 破裂したり、有害物質の出る恐れがあります。

## ⚠ 注意

- ① **作業場は、いつもきれいに保ってください。**
  - ちらかった場所や作業台は、事故の原因になります。
- ② **子供を近づけないでください。**
  - 作業員以外、工具本体や充電器のコードに触れさせないでください。  
けがの原因になります。
  - 作業員以外、作業場へ近づけないでください。けがの原因になります。
- ③ **使用しない場合は、きちんと保管してください。**
  - 乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。事故の原因になります。
  - 工具本体や蓄電池を、温度が50℃以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。蓄電池劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。
- ④ **無理して使用しないでください。**
  - 安全に能率よく作業するために、工具本体の能力に合った速さで作業してください。能力以上での使用は、事故の原因になります。

## ⚠ 注意

- モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。  
発煙、発火の恐れがあります。

### ⑤ 作業に合った工具本体を使用してください。

- 小形の工具本体やアタッチメントは、大形の工具本体で行う作業には使用しないでください。けがの原因になります。
- 指定された用途以外に使用しないでください。けがの原因になります。

### ⑥ きちんとした服装で作業してください。

- だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、着用しないでください。  
回転部に巻き込まれる恐れがあります。
- 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。  
すべりやすい手袋や履物は、けがの原因になります。
- 長い髪は、帽子やヘアカバーなどでおおってください。  
回転部に巻き込まれる恐れがあります。

### ⑦ 充電器のコードを乱暴に扱わないでください。

- コードを持って充電器を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
- コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
- コードが踏まれたり、引っ掛けられたり、無理な力を受けて損傷することがないように、充電する場所に注意してください。感電や、ショートして発火する恐れがあります。

### ⑧ 無理な姿勢で作業をしないでください。

- 常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。  
転倒して、けがの原因になります。

### ⑨ コードレス工具は、注意深く手入れをしてください。

- 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。損傷した刃物類を使用すると、けがの原因になります。
- 付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。けがの原因になります。
- 充電器のコードは、定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店または日立工機(株)の相談と修理の窓口に修理を依頼してください。  
感電や、ショートして発火する恐れがあります。
- 充電器に延長(継ぎ)コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。感電や、ショートして発火する恐れがあります。
- 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースが付かないようにしてください。けがの原因になります。

### ⑩ 調節キーやスパナなどは、必ず取りはずしてください。

- スイッチを入れる前に、調節に用いたキーやスパナなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。付けたままでは、作動時に飛び出して、けがの原因になります。

## ⚠ 注意

### ⑪ 屋外使用に合った延長(継ぎ)コードを使用してください。

- 屋外で充電する場合、キャプタイヤコードまたはキャプタイヤケーブルの延長(継ぎ)コードを使用してください。

### ⑫ 油断しないで十分注意して作業をしてください。

- コードレス工具を使用する場合は、取扱方法、作業のしかた、周りの状況など、十分注意して慎重に作業をしてください。軽率な行動をすると、事故やけがの原因になります。
- 常識を働かせてください。非常識な行動をすると、事故やけがの原因になります。
- 疲れている場合は、使用しないでください。事故やけがの原因になります。

### ⑬ 損傷した部品がないか点検してください。

- 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- 可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
- 電源プラグやコードが損傷した充電器や、落としていたり、何らかの損傷を受けた充電器は使用しないでください。感電や、ショートして発火する恐れがあります。
- 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店または日立工機(株)の相談と修理の窓口にご相談ください。
- スイッチで始動および停止操作のできない工具本体は、使用しないでください。異常動作して、けがの原因になります。

### ⑭ コードレス工具の修理は、専門店で依頼してください。

- サービスマン以外の方は、工具本体・充電器・蓄電池を分解したり、修理・改造をしないでください。発火したり、異常動作して、けがの原因になります。
- 工具本体が熱くなったり、異常に気付いたときは、点検・修理に出してください。
- この製品は、該当する安全規格に適合しているため改造しないでください。
- 修理は、必ずお買い求めの販売店または日立工機(株)の相談と修理の窓口にお申し付けください。ご自分で修理すると、事故やけがの原因になります。

#### ○ 騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。ご近所に迷惑をかけないように、規制値以下でご使用になることが必要です。状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

# 本製品の使用上のご注意

先にコードレス工具として共通の注意事項を述べましたが、コードレス刈払機として、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

## ⚠ 警告

### ① 指定された用途以外に使用しないでください。

- けがの原因になります。

### ② 保護具を着用し、きちんとした服装で作業してください。

- そで口をきちんと閉めた作業服、すそ閉まりのよい長ズボンを着用してください。
- 耳栓、イヤマフなどの防音保護具を着用してください。
- 粉じんの多い作業では、防じんマスクを着用してください。保護具をつけずに作業すると、飛散物が身体に当たるなどけがの原因になります。

保護メガネをつける

規格に合った保護帽を正しく着用する

作業衣は、身軽に作業できるもの

はきものはすべり止めのある安全靴をはく

手袋は、操作に支障をきたさないものを着用する



### ③ 作業はゆとりを持って行ってください。また、身体を冷やさないようにしてください。

### ④ 子供や取扱説明書をよく読んでいない人、または取扱いに不慣れな人には工具を使用させたり、貸さないでください。

- 初めて使用する人は、販売店や熟練者に操作方法、注意事項をよく教わって十分習得し、取扱説明書をよく読んでから使用してください。

### ⑤ 作業に入る前に作業手順をよく考え、事故が起きないようにしてください。

### ⑥ 夜間や天候不良などの視界が悪いときは使用しないでください。また、雨中や雨上がりのぬれた場所では使用しないでください。

- 足元が不安定で、バランスを失い、事故の原因になります。

### ⑦ 始動前に先端工具（刃具など）を点検してください。

- 先端工具（刃具など）にヒビ割れ、傷、曲がりがある物は使用しないでください。
- 先端工具（刃具など）が確実に取付けられているか確認してください。先端工具（刃具など）が割れたり、はずれたりすると事故の原因になります。

### ⑧ 飛散防護カバー、肩掛けバンドは必ず取付けて作業してください。

- 取りはずして作業すると、けがの原因になります。

### ⑨ ループハンドルは必ず取付けて作業してください。また、がたつきがなく確実に取付けられていることを確認してください。作業中は、ループハンドルをしっかり握り、腕力で振り回したりせず正しい姿勢でバランスを取ってください。また、刈刃は右から左に掃くように作業してください。

- 作業中にバランスを失い、けがをする恐れがあります。

## ⚠ 警告

- ⑩ モーターを始動する場合は注意してください。
- 機体を平らな場所に置いてください。
  - 15 m以内に人や動物を近づけないでください。
  - 先端工具(刃具など)が地面や草木などに触れていないことを確認してください。不用意な始動は、けがの原因になります。
- ⑪ ロックレバーを固定しないでください。
- 誤ってレバーを引いたとき、不意に動き思わぬけがの原因になります。
- ⑫ 機体から離れるときは、スタートボタンを押して、電源OFFしてください。
- ⑬ 電線、ガス管などが設置してある場所では安全に十分注意してください。
- ⑭ 空き缶、針金、石などの有無を確認し、ある場合は取除いてから作業してください。また、木の根や岩のある所での作業はしないでください。
- 刈刃の損傷や、けがの原因になります。
- ⑮ 回転速度をむやみに上げないでください。
- 回転を上げる場合は急に上げずに、徐々に回転を上げてください。
  - 作業の負荷に応じてレバーを調整しながら使ってください。飛散物が飛び散るなど、思わぬ事故の原因になります。
- ⑯ 回転中の刈刃には、絶対に触れないでください。
- 髪の毛や衣服なども触れないように注意してください。
- ⑰ 次の場合はモーターを停止し、先端工具(刃具など)の動きが止まるのを確認してください。
- 作業場所を移動する場合。
  - 機体に巻き付いたごみや草を取除く場合。
  - 作業場所の障害物を取除いたり、作業で発生したごみ、草、切り粉などを運ぶ場合。
  - 機体を身体からはずす場合。  
先端工具(刃具など)が動いたままでは、思わぬ事故が起こります。
- ⑱ 他の人を15 m以内に近づけないでください。  
また、二人以上で作業する場合も、15 m以上離れてください。
- 飛散物が当たるなど、思わぬ事故の原因になります。
  - 傾斜地などの足場が悪い場所での作業では、他の作業者に危険がないことを確認してから作業してください。
  - 呼び笛を準備するなど、他の作業者との連絡方法をあらかじめ決めておいてください。
- ⑲ 刈刃部に草などが巻きついたときは、すぐにモーターを停止し、刈刃の回転が停止してから取除いてください。
- 刈刃が停止していない状態で取除こうとすると、けがの原因になります。
  - 草などが巻き付いた状態で無理に作業を続けると、故障の原因になります。

## ⚠ 警告

- ⑳ 使用中、機体の調子が悪かったり、異常音、異常振動がしたときは、直ちにモーターを止めて、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼してください。
  - そのまま使用すると、けがなど事故の原因になります。
- ㉑ 誤って機体を落としたり、ぶつけたりしたときは、破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
  - 破損や亀裂、変形があるとけがの原因になります。
- ㉒ 機体を車で運搬する場合は、機体が動かないように固定してください。
  - 事故の原因になります。

## ⚠ 注意

- ① 刈払い作業以外に刈刃を動かしたり、刈刃が水たまりなどの水に触れるような作業、土に刈刃が入り込むような作業はしないでください。
- ② 精密部品を内蔵していますので、落下等の強い衝撃を加えたり、水にぬらさないでください。
  - 動作不良、誤動作等をおこす原因になります。
- ③ 使用後に機体を運搬したり、保管する場合は、先端工具(刃具など)をはずすか、カバーをかぶせてください。
  - 先端工具(刃具など)が身体に触れて、けがの原因になります。
- ④ 刈刃の取扱いには、手袋、布などで手を保護し、十分注意してください。
  - 不用意に扱うと、けがの原因になります。
- ⑤ 殺虫剤などの薬品が機体に付いたままにしないでください。
  - 破損や亀裂が生じる恐れがあります。
- ⑥ 警告ラベルが見えなくなったり、はがれたり、不鮮明になった場合は新しい警告ラベルと取換えてください。
  - 警告ラベルはお買い求めの販売店にお申しつけください。
- ⑦ 作業に当たって、その地域の規則や取り決めがある場合はそれに従ってください。
- ⑧ 蓄電池を一般のごみと一緒に捨てたり、火の中へ入れないでください。
- ⑨ 蓄電池は乳幼児の手の届かない所に保管してください。
- ⑩ 蓄電池の仕様表示に従って正しく使用してください。

# リチウムイオン電池の使用上のご注意

本製品にはリチウムイオン電池が標準で付属されております。

リチウムイオン電池の寿命を長くする目的で出力を停止する保護機能がついています。

本製品を使用中、スイッチを引いたままでも下記 ①、②、③ の場合、モーターが停止する場合がありますが、これは保護機能によるものであり故障ではありません。

- ① 電池残量が少なくなると(電池電圧 12Vまで低下)モーターが停止します。  
このときはすみやかに充電してください。
- ② 本体が過負荷状態になるとモーターが停止する場合があります。  
このときはいったんスイッチをはなし、過負荷の原因を取除いてください。
- ③ 蓄電池が過熱状態になるとモーターが停止する場合があります。このときは、蓄電池の使用を中断し、工具本体より取りはずして、風通しの良い日陰などで蓄電池を十分に冷ましてください。  
再びご使用になれます。

さらに次頁に述べる注意事項を守ってください。

## 警告

蓄電池の漏液、発熱、発煙、発火を未然に防ぐため以下の内容を必ず守ってください。

- ① 蓄電池に切りくずやほこりがたまらないようにしてください。
  - 作業中に切りくずが蓄電池に降りかからないようにしてください。
  - 作業中に工具本体にたまった切りくず、ほこりが蓄電池に降りかからないようにしてください。
  - 蓄電池を使用しないとき切りくず、ほこりが降りかかる場所に蓄電池を放置しないでください。
  - 保管時、蓄電池は切りくず、ほこりを落とし、金属製の部品(ねじ、釘など)とは別々にしてください。
- ② 蓄電池に釘をさす、ハンマーでたたく、踏みつける、投げつけるなど強い衝撃を与えないでください。
- ③ 外傷、変形の著しい蓄電池は使用しないでください。
- ④ (+)(-)を逆にして使用しないでください。
- ⑤ 蓄電池を直接、コンセントや車のシガレットコンセントに接続しないでください。
- ⑥ 蓄電池を指定機器以外の用途に使わないでください。
- ⑦ 充電の際に所定の充電時間を大幅に超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。

## ⚠ 警告

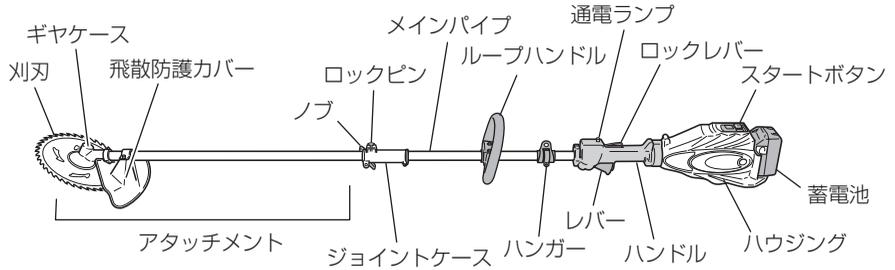
- ⑧ 蓄電池を電子レンジに入れたり、高圧容器に入れるなど過熱、高圧を与えないでください。
- ⑨ 蓄電池が漏液したり、悪臭がするときは直ちに火気より遠ざけてください。
- ⑩ 強い静電気の発生する場所では使用しないでください。
- ⑪ 蓄電池の使用、充電、保管時に異臭を発したり、発熱、変色、変形その他今までと異なる事に気がついたときは、直ちに使用機器あるいは充電器より取り出して使用しないでください。

## ⚠ 注意

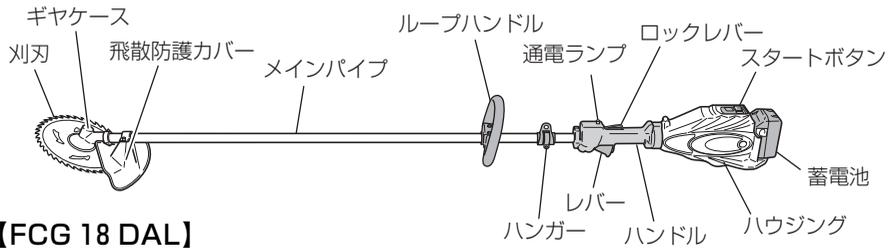
- ① 蓄電池が漏液して液が目に入ったときは、こすらずにすぐ水道水などのきれいな水で十分に洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。
  - 放置すると液により目に障害を与える原因になります。
- ② 蓄電池が漏液して液が皮膚や衣類に付着した場合は、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。
  - 皮膚がかぶれたりする原因になる恐れがあります。
- ③ お買い上げ後、初めて使用する際、さびや異臭、発熱、その他異常と思われるときは、使用しないでお買い上げの販売店にご持参ください。

# 各部のなまえ

## 工具本体

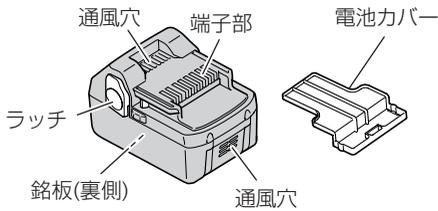


【FCG 18 DL】

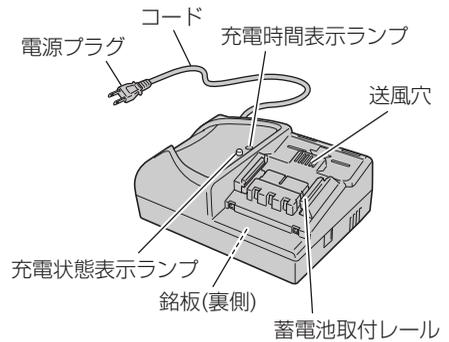


【FCG 18 DAL】

## 蓄電池



## 充電器



# 標準付属品

製品形名(仕様) 品名(形名)	FCG 18DL(LSC)	FCG 18DL(2LSC)	FCG 18DAL(LSC)	FCG 18DAL(2LSC)
蓄電池(BSL 1830)	1個 (本体装着)	2個 (本体装着1、予備1)	1個 (本体装着)	2個 (本体装着1、予備1)
電池カバー (予備電池装着用)	—	1個	—	1個
充電器(UC 18YSL2)	1個	1個	1個	1個
チップソー (外形 230 mm) 	1枚	1枚	1枚	1枚
刈刃カバー 	1式	1式	1式	1式
六角棒スパナ (M5 ねじ用) 	1個	1個	1個	1個
ボックススパナ (19 × 17) 	1個	1個	1個	1個
保護メガネ 	1個	1個	1個	1個
肩掛けバンド 	1個	1個	1個	1個

# 充電する

ご使用前、新品時、長期間ご使用にならなかったとき、残量が残りが少なくなったときは、次のように充電してください。

## 1 電源を確認する

この充電器は交流 100 V用です。200 V電源に接続すると、充電器が異常に発熱し、故障します。また、直流電源やエンジン発電機では使用しないでください。

## 2 コンセントを確認する

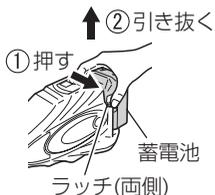
コンセントががたついたり、電源プラグが抜け落ちてしまうときは、接続しないでください。そのまま使用すると危険です。

## 3 電源プラグをコンセントにさし込む

充電状態表示ランプが赤の点滅を繰り返します。  
(P14「充電ランプの表示について」参照)

## 4 蓄電池を充電器にさし込む

取りはずすとき



蓄電池を右図に示す線が見えるまでしっかりとさし込んでください。

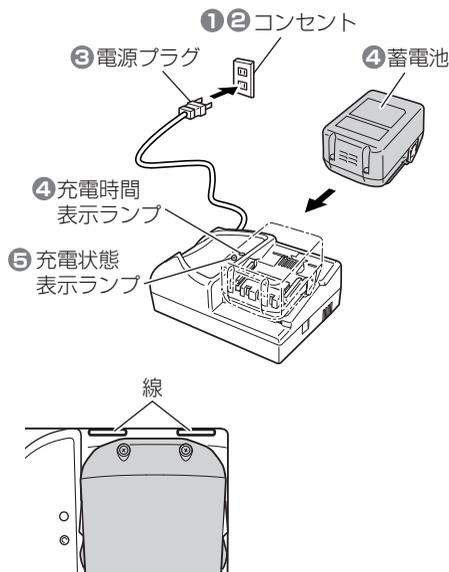
充電を開始すると、充電時間表示ランプが赤／橙／緑のいずれかに連続点灯して、充電完了までの時間をお知らせします。

## ⚠ 警告

手順 ①、② については、充電器の電源プラグをコンセントにさし込む前に確認してください。

## 5 充電が終わったら

- 充電が完了すると、充電状態表示ランプが緑に連続点灯し、ブザーが「ピー」と6秒鳴ってお知らせします。
- 電源プラグをコンセントから抜き、充電器から蓄電池を抜き取ってください。



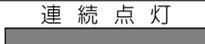
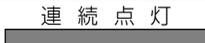
**充電時間：約22分**

**注** 充電時間は周囲温度や蓄電池の状態により長くなることがあります。

## ●充電ランプの表示について

充電器には、充電時間の目安を表示する「充電時間表示ランプ」と充電状態を表示する「充電状態表示ランプ」がっています。

各ランプの表示内容は以下のようになっています。

ランプ	ランプの表示		表示内容
充電時間 表示ランプ (赤/橙/緑)	充電時間 30分	赤点灯 	充電完了まで約 30分
	充電時間 20分	橙点灯 	充電完了まで約 20分
	充電時間 5分	緑点灯 	充電完了まで約 5分
	高温待機	赤点滅 	蓄電池の温度が高くて 充電できない。 (温度が下がると自動的に 充電を開始します。)
充電状態 表示ランプ (赤/橙/緑)	充電前	赤点滅 	電源にさし込んだ状態
	充電完了	緑点灯 	
	充電不可	橙の速い 点滅 	充電器または蓄電池に 異常あり

- 注**
- 橙の速い点滅（0.1秒点灯／0.1秒消灯）を繰り返し、ブザーが「ピッピッピ」と約2秒鳴るときは、蓄電池の取付け部または蓄電池の端子部に異物が入っていないか確認し、異物が入っていた場合は取除いてください。  
異物が入っていない場合は、充電器または蓄電池の異常と考えられますので、充電器と蓄電池の両方を組にして、お買い求めの販売店にご持参ください。
  - 一度充電が完了した後、次の充電まで5分程度休ませてください。  
同じ充電器を連続して使用すると、充電器が発熱し、故障の原因になります。
  - 本体を使用した直後の蓄電池は熱くなっていますので、蓄電池が少し冷めてから充電します。  
すぐ充電すると、蓄電池の寿命を短くします。
  - 本体の力が弱くなってきたと感じたら、使い続けるのをやめ、充電します。  
無理に使い続けると、蓄電池が傷み、寿命を短くします。
  - 正しい充電をしても、蓄電池の使用時間が著しく低下してきたときは、蓄電池の寿命がすぎたものとお考えいただき、新しい蓄電池と交換してください。  
寿命のすぎた蓄電池をそのまま使用していると、蓄電池だけでなく、充電器故障の原因になります。

# 電池残量表示について

電池残量表示スイッチを押すとランプが点灯して、電池残量を確認することができます。

電池残量表示スイッチから指を離すとランプは消灯します。

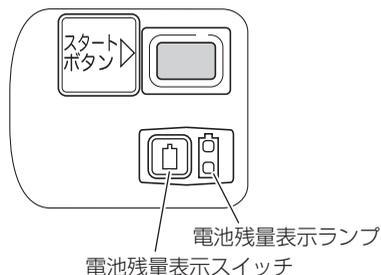
ランプの点灯状態と電池残量は以下のようになっています。

ランプの点灯状態	電池残量
	十分電池残量があります。
	電池残量が半分になっています。
	非常に少なくなっています。早めに充電してください。

電池残量表示は、周囲温度、電池特性等で多少異なりますので、目安として見てください。

## ⚠ 注意

スイッチパネルに強い衝撃を与えたり、破いたりしないでください。故障の原因になります。



**注** 電池の消耗を少なくするため、電池残量表示スイッチを押している間のみ、ランプが点灯します。

# ご使用前の準備

## ⚠ 警告

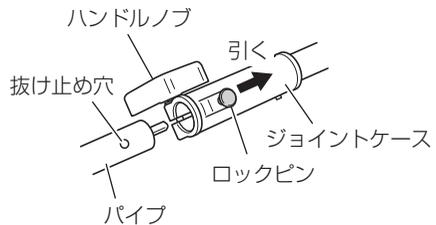
万一の事故を防止するため、必ず電源OFFし、蓄電池を本体から抜いてください。

## ⚠ 注意

刈刃の取付け・取りはずしの際には、必ず手袋および刈刃カバーを付け、手や顔などに直接、刈刃が触れないようにしてください。

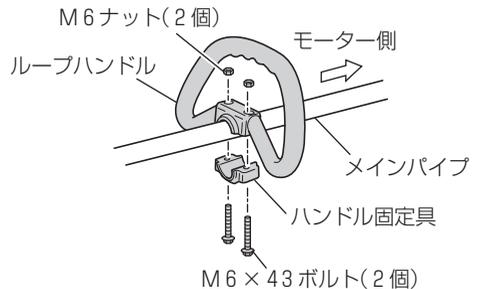
## ●アタッチメント部の組立【FCG 18DLのみ】

- ① ロックピンを刈払機アタッチメントのパイプ抜け止め穴に入れ、パイプが抜けないことを確認します。
- ② ハンドルノブをしっかりと締め付け、固定します。



## ●ループハンドルの取付け

- ① ループハンドルに仮止めしてあるM6×43ボルト(2本)をはずします。
- ② メインパイプ上側に、ループハンドルがモーター側に傾くようセットします。
- ③ メインパイプ下側にハンドル固定具を当て、M6×43ボルト(2本)とM6ナット(2個)を使用し、確実に固定します。



**注** ループハンドルは使いやすい位置を決めて固定してください。

## ●飛散保護カバーの取付け

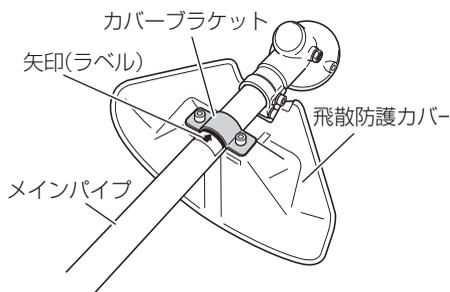
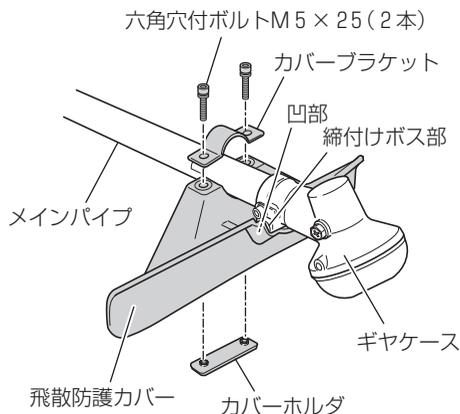
### ⚠ 警告

飛散防護カバーは必ず所定の位置に確実に取付けてください。

小石等が飛散した場合けがの原因になります。

**注** 取付けには付属の六角棒スパナを使用します。

- ① ギヤケースの締付けボス部と飛散防護カバーの凹部を合わせます。
- ② メインパイプの上側にカバーブラケットを当て、六角穴付ボルトM5×25(2本)を飛散防護カバーの穴までさし入れます。
- ③ 飛散防護カバーの下側にカバーホルダを当て、付属の六角棒スパナで六角穴付ボルトM5×25(2本)を交互に締め付け、確実に固定します。
- ④ メインパイプに貼付けてあるラベルの矢印先端にカバーブラケットが合っていることを確認します。



## ●肩掛けバンドの取付け

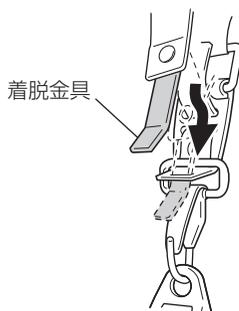
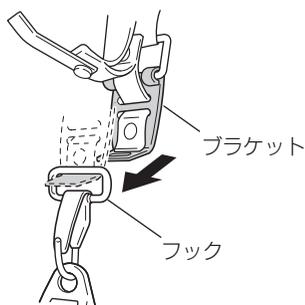
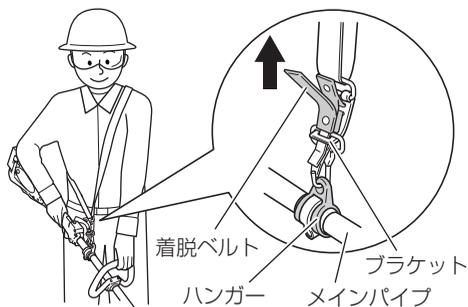
### ⚠ 警告

- 肩掛けバンドは必ず着用し、本機を正しく保持してください。
- 危険を感じたときは直ちにモーターを停止し、肩掛けバンドの着脱装置をはずし、刈払機を身体から離してください。

### ⚠ 注意

- 本機を支えないで着脱ベルトを引くと本機が足の上に落ち危険です。他方の手で本機のメインパイプを持ちながら引ってください。
- 作業前に着脱機能に異常のないことを確かめてください。

- ① 肩掛けバンドは右図のように肩に掛け、本機のハンガーに引っ掛けます。肩掛けバンドは使いやすい長さに調節してください。
- ② 肩掛けバンドから本機をはずすときは、片手で本機のメインパイプを押さえ、着脱ベルトを右図のように上に引き、ブラケットからはずします。
- ③ 結合するときは、フックにブラケットをさし込み、着脱金具をフックの上からブラケットの長穴にさし込みます。軽く肩掛けバンドを引いて、確実に取付けられていることを確認してください。



## ●刈刃の取付け

### ⚠ 警告

- 取付ける前に刈刃にひび割れ、変形などがないか、よく調べてから取付けてください。
- 刈刃を取付ける際は、必ず刈刃の中心穴を刃受金具の凸部に入れ、刃押え金具の凹面側で刈刃を挟むようにし、刈刃が偏心しないように確実に締めてください。
- 刈刃取付け後は忘れずに六角棒スパナ、ボックススパナをはずしてください。
- 左M10取付ナット、ナットカバーが摩耗している場合は必ず新品と交換してください。

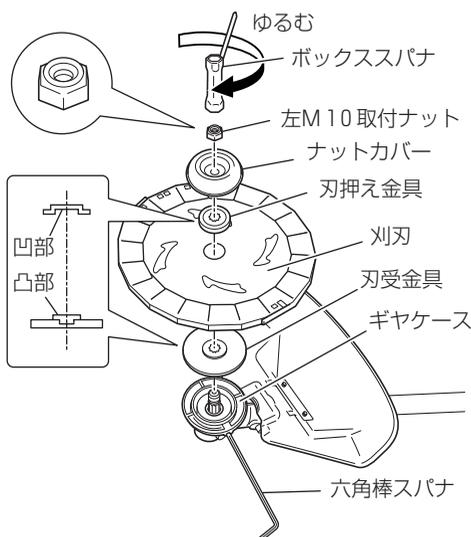
- 注**
- モーターがロックしたり、回転が落ちるような使い方は、故障の原因になります。負荷をかけ過ぎないように使用してください。
  - 刈刃、ナイロンコードカッターは本書のP 28「別売部品の紹介」に指定の純正品のみを使用してください。ナイロンカッターに付いている説明書に従って正しく、安全にご使用ください。
  - 特に作業時のナイロンコードの長さ  
に注意してください。  
故障の原因になります。

① 本機を図のようにさかさにします。

② 刃受金具の穴とギヤケースの穴を合わせ、付属の六角棒スパナをさし込み回り止めをします。

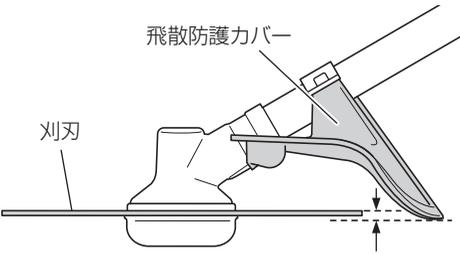
③ 付属のボックススパナで左M10取付ナットを右に回しゆるめ、左M10取付ナット、刃押え金具をはずしてください。

④ 刈刃の取付けは、刃受金具の穴とギヤケースの穴に六角棒スパナをさし込み、刃受金具に刈刃(刃の向きを確認して)、刃押え金具、ナットカバーの順序で取付けます。

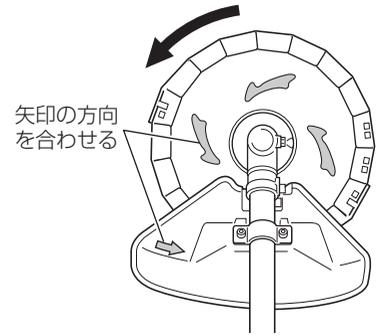
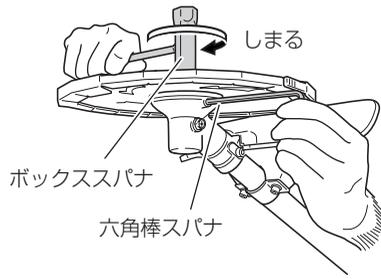
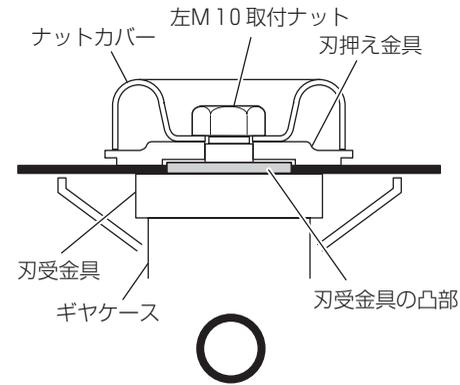


⑤ 左M10 取付ナットの丸みのある面をボックススパナ側にして確実に締め付けてください。

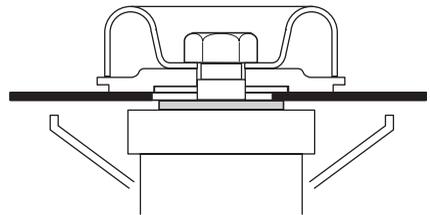
⑥ 刃が正しく取付けられていることを確認してください。また、刃が飛散防護カバーの内側になっていることを確認してください。内側になっていない場合は、再度飛散防護カバーを取付け直ししてください。



正しい取付け



間違った取付け (例)



刃の中心の穴が刃受金具の凸部に合っていない

# 草を刈る

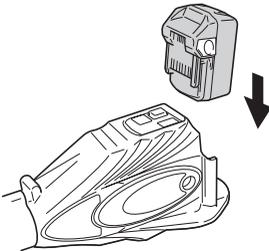
## ⚠ 警告

- 刈刃カバーを取付けたまま、レバーを引かないでください。
- 夜間や天候不良などの視界が悪いときは使用しないでください。
- 雨中や雨上がりのぬれた場所では使用しないでください。
- 常に足元をしっかりとさせ、スリップなどで身体のバランスを失わないように十分注意して使用してください。
- 急傾斜地では使わないでください。  
あまり急でない急傾斜地で使用する場合は等高線方向に刈り進んでください。
- 肩掛けバンドに機体を下げ、右手でハンドル、左手でループハンドルをしっかりと持ち作業してください。
- 刈刃が足元に近づくような機体操作はしないでください。
- 作業中刈刃をひざより高く持ち上げないでください。
- 刈刃が石、木の株、その他の障害物に当たる恐れのある場所では使わないでください。
- 刈刃の跳ね返り(キックバック)に注意してください。特に刈刃の右側を障害物に当てると、自分の方に刈刃が勢いよく跳ね返されますので注意してください。
- 他の人を15m以内に近づけないでください。また、二人以上で作業する場合も、15m以上離れてください。

# 1

## 蓄電池を取付ける

下図の向きで、「カチッ」と音がするまで、しっかりと押し込んでください。



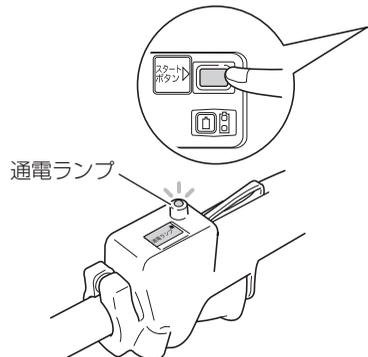
## オートパワーOFFについて

電源ONで、レバーが引かれない状態が1分間経過しますと、自動的に電源OFFとなります。電源を入れるためには、再度スタートボタンを押してください。

# 2

## 電源を入れる

- ハウジング部のスタートボタンを押すと、電源ONとなり、ハンドル部の通電ランプが赤く点灯します。
- 再度スタートボタンを押すと、電源OFFとなり、ハンドル部の通電ランプが消灯します。

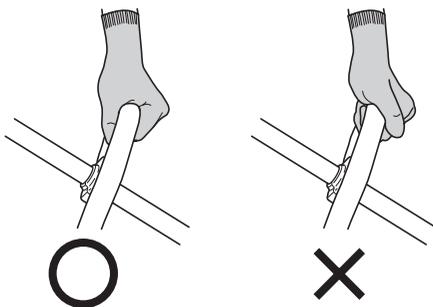
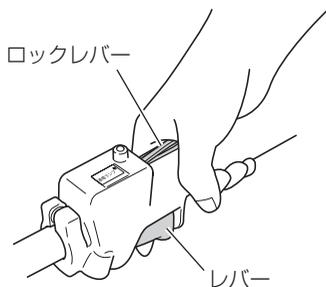


## 警告

電源ONにしたまま本機を放置しないでください。  
事故の恐れがあります。

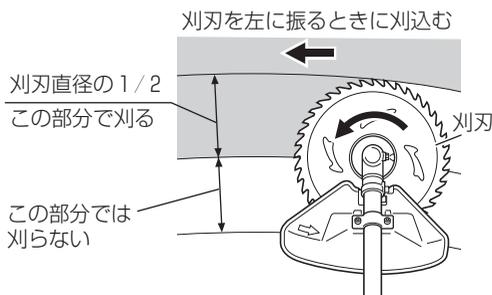
### 3 草を刈る

- ハンドルを上から握り、ロックレバーを押してレバーを引くと刈刃が回転します。
- 刈払い作業をしないときはレバーをはなし、必ず回転を停止してください。
- ループハンドルに親指を掛け、他の指とともにループハンドルを囲むように握ってください。
- 体重の移動が容易で、安全な体勢をつくってください。



### 刈払いのコツ

- 回転が低すぎると力がなく、草もからみやすくなります。回転が高すぎると刈刃磨耗が速くなる、振動・騒音が大きくなる、電池消費が多くなるなどの原因になります。
- 回転速度をむやみに上げると、電池の消耗を早めます。
- パイプを振り回さず、腰の移動で刈刃を水平に右から左に弧を描くように振りながら前進し、刈刃の左側で刈込んでください。
- 刈刃直径の1/2の部分で刈ると、切れ味がよく、また草の巻き込みも少なく能率的です。



# 刈払い作業上のご注意

## ●連続作業について

本機は蓄電池の制御を行っている電子部品を保護するため、温度保護回路が搭載されています。

刈払い作業を連続で行うと、機体の温度が上昇するため温度保護回路が作動し、自動停止する場合があります。

その際は本機を十分に冷却してください。温度が下がれば再び使用することができます。また、連続的に作業する際は、蓄電池の交換時に工具本体を15分程度休ませてからご使用ください。

## ●変速スイッチについて

スイッチには回転数を無段階に変速する電子回路が内蔵されています。

従ってスイッチ引金の引込み量が少ない状態（低速回転域）でモーターが過負荷となる作業を連続的に行うと電子回路部品の温度が高くなり、故障の原因になります。

低速回転域では、軽負荷でご使用ください。

# 点検とお手入れ

## ⚠ 警告

点検・手入れの際は、必ず電源OFFし、蓄電池を工具体体から抜いてください。また、充電器は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

## ● 刈刃の点検

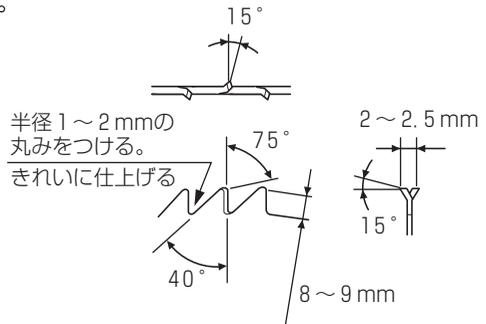
刈刃に刃先の欠け、ヒビ割れ、傷、曲がり、偏心などがなければ必ず点検してください。異常がある場合は、新品と交換してください。なお、点検の際は、必ず手袋などで手を保護し十分注意してください。

## ● 刈刃のとぎ方

切れ味が悪くなった刈刃をそのまま使用すると能率が悪くなります。目立てヤスリなどで、早めにといでください。

### (1) 丸のこ刃のとぎ方

刃の谷に割れが起こらないように、必ず半径1～2mmの丸みをつけてください。アサリ幅は2～2.5mmが適当です。

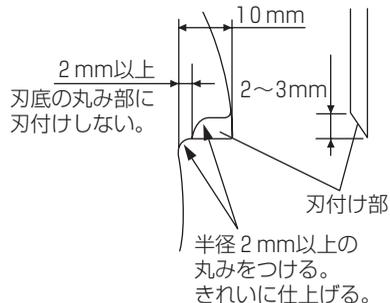


### (2) 8枚刃のとぎ方

## ⚠ 警告

- 刃底の部分には必ず2mm以上の丸みをつけてください。
- 刃付けは刃底の丸み部に付けないで、刃底から2mm以上離れた位置から付けてください。
- 8枚の刃を平均にとぎ、バランスに注意してください。

8枚刃をとぐ場合は右図のようにとぎます。8枚刃のケースに記載してある「刃型ゲージ」を利用しますと、刃とぎが容易にできます。



## ●取付ねじの点検

ご使用前に点検して、ゆるんでいたら、締め直してください。  
そのまま使用すると危険です。

## ●本体はきれいに

石けん水に浸した布でふいてください。  
ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油類はプラスチックを溶かす作用がありますので使わないでください。

## ●モーター部の取扱いについて

モーター部の巻線は工具本体の重要な部分です。  
巻線にキズ、洗油および水をつけないよう十分に注意してください。

**注** ごみやほこりを排出するため、定期的に、モーターを無負荷運転させて、湿気のない空気をハウジング下方の風穴から吹き込んでください。  
モーター内部にごみやほこりがたまると、故障の原因になります。

## ●製品や付属品の保管

作業後は、温度が 50℃未満で、お子様の手の届かない乾燥した場所に保管してください。

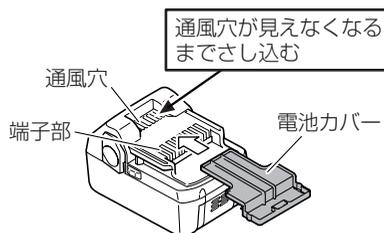
長期間（6 ヶ月以上）ご使用にならない場合は、蓄電池を長持ちさせるために、満充電にして保管することをおすすめします。

- 注**
- お子様の手が届いたり、簡単に持ち出せる場所には保管しない。
  - 軒先など雨がかったり、湿気のある場所には保管しない。
  - 温度が急変する場所、直射日光の当たる場所には保管しない。
  - 引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所には保管しない。

## ⚠ 警告

リチウムイオン電池の端子部に導電性のある異物が入り込むと、短絡(ショート)して発熱、発煙、発火する恐れがありますので、保管するときは、以下の内容を必ず守ってください。

- 収納ケースに導電性のある切りくずや釘、針金や銅線などの線材を入れないでください。
- 短絡するのを防ぐため、蓄電池は工具体体にさし込むか、電池カバーを取付けて保管してください。

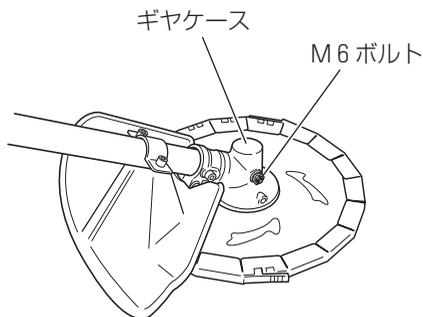


## ●ギヤケースへの給油

使用 50 時間に 1 回程度、ギヤケースの側面にある M 6 ボルトをはずし、そのねじ穴からグリースを給油してください。

グリースはお買い求めの販売店に用意してあるグリース(コードNo. 930035 チューブ入り 100 g)をご使用ください。

- 注**
- M 6 ボルトをもとの位置に取付けるときは、ごみやほこり、土などをよく取除いてから取付けてください。ギヤケース内部にごみやほこりが入ると、故障の原因になります。

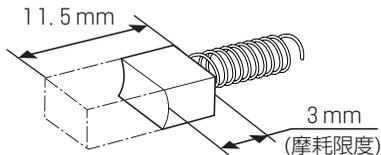


## ●カーボンブラシの点検

モーター部には、消耗品であるカーボンブラシを使用しています。カーボンブラシの摩耗が大きくなりますと、モーターの故障の原因となりますので、長さが摩耗限度(3mmぐらい)になりましたら新品と交換してください。

また、カーボンブラシはごみなどを取除いてきれいにし、ブラシチューブ内で自由にすべるようにしてください。

**注** 新品のカーボンブラシと交換の際は、日立カーボンブラシ(コードNo. 999068)を使用してください。



## ●カーボンブラシの交換方法

### 1 ブラシキャップをはずす

マイナスドライバーなどで反時計方向に回して取りはずします。



### 2 カーボンブラシを取り出す

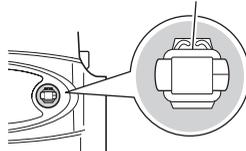
カーボンブラシのツバをマイナスドライバーなどで図のように引っ掛けて、取り出します。



### 3 新しいカーボンブラシを取付ける

図のようにカーボンブラシのツメをブラシチューブ外側の接触部と一致するように方向を定め、指で押し込みます。

ブラシチューブ外側の接触部



**注** カーボンブラシのツメは、必ずブラシチューブ外側の接触部に挿入してください(ツメは2カ所あるうちのどちらでも良い)。間違えるとカーボンブラシのツメが変形し、モーターの早期故障の原因になります。

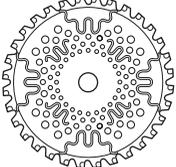
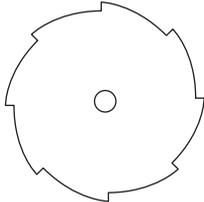
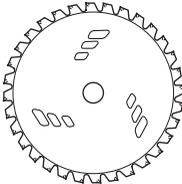
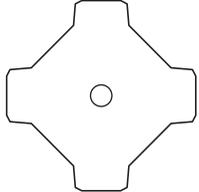
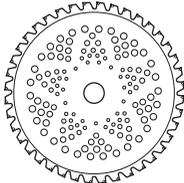
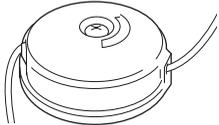
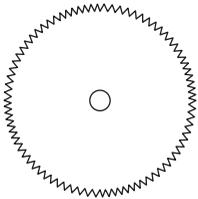
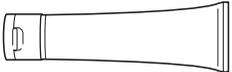
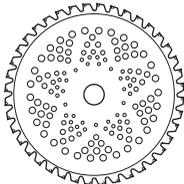
### 4 ブラシキャップを取付ける

ブラシキャップでカーボンブラシを押さえ込みながら、マイナスドライバーなどで時計方向に回して締め付けます。

# 別売部品の紹介

日立電動工具販売店でお求めください。

(別売部品は生産を打ち切ることがありますので、ご了承ください。)

<p><b>スーパーチップソータイプ</b> (レーザースリット+軟質特殊樹脂仕様) 外径 230 mm× 32 枚</p> 	<p><b>巴刃</b> 外径 230 mm× 8 枚</p> 
<p><b>チップソー標準タイプ</b> (窓有仕様) 外径 230 mm× 32 枚</p> 	<p><b>角形 4 枚刃</b> 外径 230 mm× 4 枚</p> 
<p><b>チップソー軽量タイプ</b> (メッシュ仕様) 外径 230 mm× 36 枚</p> 	<p><b>ナイロンコードカッタ 打撃タイプ</b> 外径 110 mm</p> 
<p><b>丸のこ刃</b> 外径 230 mm× 80 枚</p> 	<p><b>グリース(チューブ入り 100 g)</b> 使用 50 時間に 1 度程度ギヤケースに給油 します。</p> 
<p><b>下刈用チップソー軽量タイプ</b> (メッシュ仕様) 外径 230 mm× 60 枚</p> 	<p><b>すね当て(1組2個入り)</b> 飛散物から足を守ります。</p> 

その他

# 故障かな…というときは

次の内容を点検してください。それでも直らない場合はお買い求めになった販売店または日立工機（株）の相談と修理の窓口にお問い合わせください。

	症 状	考えられる原因	処 置	参照ページ
充電器	充電ランプが点灯しない	電源プラグがコンセントにさし込まれていない	電源プラグをコンセントにさし込んでください。	P13
		蓄電池が充電器に確実にさし込まれていない	蓄電池が充電器の底に当たるまでしっかりとさし込んでください。	P13
		蓄電池または充電器の充電端子が汚れている	綿棒などで汚れをふき取ってください。	—
		蓄電池が高温である	蓄電池を十分に冷ましてから充電してください。	P14
	充電開始後、4時間くらい経過しても充電ランプが消えない	蓄電池または充電器の異常と考えられる	電源プラグを抜いてお買い求めの販売店または日立工機（株）の相談と修理の窓口にお問い合わせください。	P14
本体	動かない	蓄電池の残量がない	蓄電池を充電してください。	P13 P15
		蓄電池のさし込みが確実でない	蓄電池を引き抜いて、工具本体の電池挿入口に異物が混入しているときは、取除いてください。また、蓄電池の端子部に汚れや水等が付着しているときは、綿棒などで汚れをふき取ってください。また、蓄電池は「カチッ！」と音がするまで確実にさし込んでください。	—
		電源が入っていない	ハウジング部のスタートボタンを押し、電源を入れてください。また、本機にはオートパワーOFF機能が搭載されており、電源ONでレバーが引かれない状態が1分間経過しますと、自動的に電源OFFとなります。電源を入れるためには、再度スタートボタンを押ししてください。スタートボタンを2回押しすと電源OFF状態に戻ります。	P21

	症 状	考えられる原因	処 置	参照 ページ
本 体	動かない	ロックレバーを押してレバーを引いていない	本機は、誤操作による事故を防ぐため、ロックレバーを押しながらレバーを引かないとモーターが回転しない構造となっています。ハンドルを上から握り、ロックレバーを押してレバーを引いてください。	P22
		大量の草を刈込んで、飛散防護カバーと刈刃に巻き付き、過負荷状態になっている	蓄電池を保護する機能で、過負荷状態になるとモーターが停止する場合があります。いったん電源OFFし、過負荷の原因を取除いてください。もう一度スタートボタンを押せば、再びご使用になれます。	P9
	動いてもすぐ止まる	蓄電池の残量が少ない	蓄電池を充電してください。	P13 P15
		蓄電池が過熱状態になっている	蓄電池の使用を中断し、工具の本体より取りはずして、風通しの良い日陰などで蓄電池を十分に冷ましてください。	P9
	振動が大きい	刈刃が正しく取付けられていない	刈刃を再度取付け直す。	P19
		刈刃にひび、割れ、曲がりがある	刈刃を交換する。	P19
		ループハンドルがメインパイプにしっかりと固定されていない	確実に固定する。	P16
		飛散防護カバーがメインパイプにしっかりと固定されていない	確実に固定する。	P17
	刈刃の切れ味が悪い	刃先が痛んでいる	刈刃を研ぎ出す。または交換する。	P19 P24
		回転方向に対し、刈刃の取付け向きが逆になっている	正しい回転方向に刈刃を取付け直す。	P19
	ギヤケースから異音がする	ギヤケースのグリス切れ	グリスを給油する。	P26

# 仕 様

## 1. 工具本体仕様

製品形名 (仕様)	FCG 18DL	FCG 18DAL
棹 方 式	アタッチメントタイプ	ストレートタイプ
刈 刃	チップソー (外形 230 mm×内径 25.4 mm×刃数 36)	
刈 刃 回 転 方 向	上から見て反時計方向	
刈 刃 回 転 数	0 ~ 7000 min <sup>-1</sup>	
操 作 ハ ン ド ル	ループハンドル	
工具本体寸法 (全長×全幅×全高) (BSL1830装着時)	1830 mm×240 mm×215 mm	
質量 (刈刃、肩掛けバンド除く)	4.8 kg	4.6 kg
通 電 ラ ン プ	赤色LED	
運 転 時 間 ※ (満充電時)	5 ~ 25 分	
モ ー タ ー	直流モーター	
蓄 電 池	円筒密閉型リチウムイオン蓄電池	
電 池 電 圧	18 V	
残 量 表 示 ラ ン プ	赤色LED	

※ 草の種類や刃物の切れ味、刈刃回転数、周囲温度、蓄電池特性などにより異なることがあります。

## 2. 充電器仕様

形 名	UC 18YSL 2
入 力 電 源	単相交流 50 / 60Hz 共用 電圧 100 V
充 電 時 間	BSL 1430 / BSL 1415 / BSL 1830 … 約 22 分 (気温 20℃時)
充 電 電 圧	14.4 V — 18 V
充 電 電 流	BSL 1430 / BSL 1830 : 7.5 A BSL 1415 : 3.5 A
コ ー ド	2 心ビニールコード
質 量	0.7 kg
使 用 温 度 範 囲	0℃ ~ 40℃
冷 却	対応 (ファン付き)

## 3. 蓄電池仕様

形 名	容 量	冷 却
BSL 1830	3.0 Ah {3000 mAh}	対応

蓄電池はリサイクルへ .....

コードレス工具に使用の蓄電池はリサイクル可能な貴重な資源です。  
蓄電池や製品の廃棄の際は、リサイクルにご協力いただき、最寄りの  
日立電動工具販売店にご持参ください。



# アフターサービスについて

安全に能率よくご使用いただくために、定期的に点検に出されることをおすすめします。正常に作動しないときは、ご自分で修理をなさらず、お買い求めの販売店または日立工機(株)の相談と修理の窓口にご依頼ください。また、アフターサービスについてご不明の場合、その他お困りの場合は、お買い求めの販売店または日立工機(株)の相談と修理の窓口にお問い合わせください。

## 相談と修理の窓口一覧表

(家庭電気製品の表示に関する公正競争規約による表示)

本製品についてのご相談や修理は、お買い求めの販売店へどうぞ。

この商品についてのご相談や修理は、お買い求めの販売店が承るようにしております。転居されたり、贈物でいただいた場合などでお困りの場合は、お近くの相談と修理の窓口にご相談ください。なお、相談と修理の窓口の所在地、電話番号など、変わる場合もありますので、その節は「電動工具お客様相談センター」をご利用ください。新しい所在地、電話番号をご案内いたします。

お住まいの地域	窓口の所在地	支店(部)名	電話番号
全 国	港 区	営業本部	(03) 5783 - 0626
北海道	札 幌 市	北 海 道	(011) 271 - 4751
青森、岩手、宮城、秋田、 山形、福島	仙 台 市	東 北	(022) 288 - 8676
茨城、栃木、群馬、埼玉、東京、 千葉、神奈川、山梨、新潟、 長野、静岡県富士川以東	台 東 区	関 東	(03) 5812 - 6331
岐阜、愛知、三重、 静岡県富士川以西	名 古 屋 市	中 部	(052) 262 - 3811
富山、石川、福井	金 沢 市	北 陸	(076) 263 - 4311
滋賀、京都、大阪、兵庫、 奈良、和歌山	西 宮 市	関 西	(0798) 37 - 2665
鳥取、島根、広島、岡山、山口	広 島 市	中 国	(082) 228 - 0537
徳島、香川、愛媛、高知	高 松 市	四 国	(087) 863 - 6761
福岡、佐賀、長崎、熊本、 大分、宮崎、鹿児島、沖縄	福 岡 市	九 州	(092) 621 - 5772

「電動工具お客様相談センター」 ☎ 0120 - 208822 (フリーダイヤル・無料)  
※携帯電話からはご利用になれません。 (土・日・祝日を除く 午前9:00 ~ 午後5:00)  
電動工具ホームページ—<http://www.hitachi-koki.co.jp/powertools/>

---

メ 毛

---



# 日立コードレス刈払機保証書

形 名		FCG 18DL	FCG 18DAL	保証期間	本体：1年 (付属品は除く)
※お買い上げ日		平成	年	月	日
		製造番号			
※お客様	お名前				
	ご住所	〒			
※販売店	住 所	〒 電話( )			
	店 名				

※印欄に記入のない場合は無効となりますので必ずご確認ください。

保証期間内に取扱説明書などの注意書きにしたがった正常なご使用状態で故障した場合には、本書記載内容にもとづき無料修理いたします。お買い上げの日から上記の期間内に故障した場合は、商品と本書をお持ちいただき、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

- 保証期間内でも次のような場合には、有料修理となります。
  - 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
  - お買い上げ後の衝撃、落下あるいは移動、輸送などによる故障または損傷。
  - 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障または損傷。
  - 保管の不備およびお手入れの不備による故障または損傷。
  - 本書の提示がない場合。
  - 本書に形名、お買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは字句を書き換えられた場合。
  - 一般使用以外(例えば業務用など)に使用された場合の故障および損傷。
  - 付属品、別売部品や消耗品類の場合。
- 本製品の故障などに伴う二次的損害に対する保証はいたしません。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保存してください。
- ご転居、ご贈答品等で本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼にできない場合には、取扱説明書記載の営業本部または、支店にお問い合わせください。

●この保障書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店または日立工機(株)の相談と修理の窓口にお問い合わせください。

●本書は日本国内においてのみ有効です。

(This warranty is only Japan)



〒108-6020 東京都港区港南 2-15-1 (品川インターシティ A 棟)

電話 (03) 5783-0626 (代)